

2002 年度デジタルポートフォリオ・プロジェクト報告書

第 2 部 調査編

第 2 章

デジタルポートフォリオ学習・評価活動における教師の第 1 回実態調査報告書

I はじめに

デジタルポートフォリオ・プロジェクト（以下 DPP）は、デジタルポートフォリオを授業と授業評価に活用するプロジェクトである。そして、デジタルポートフォリオを授業と授業評価に活用することの効果をあきらかにすることを目的とし、デジタルポートフォリオのより一層の有効的な活用を目指すプロジェクトである。プロジェクトの研究実践に用いる題材は、コンピュータを使用する図画工作科題材「〇〇の気持ち」である。この題材において、1) DPP の Web Site にプロジェクトメンバーが作成・更新するデジタルポートフォリオ、2) 学校サーバーにデジタルワークカードを保存・集積するデジタルポートフォリオを活用する。この題材の授業実践後、「DPP の Web Site を活用した授業」「デジタルワークカードを使用した授業」「DPP の Web Site による授業公開」の実態を調査する。調査は児童と教師と保護者を対象にアンケートによって実施する。

本報告書は、第 1 回教師用アンケート調査の結果を報告するものである。

II 研究の方法

1. 目的

指導した教師たちが DPP に対してどのような考えを持っているのかを探る。

- (1) 「〇〇の気持ち」の授業での教師の活動の状態把握
- (2) 「子どもの部屋の内容」と「先生の部屋の内容」に対する教師の感じ方・とらえ方
- (3) [デジタル・ワークカード] に対する教師の感じ方・とらえ方
- (4) [デジタル・ワークカード] に対する教師の満足度

2. 方法

(1) 調査対象教師	石川県金沢市立鞍月小学校	5 年生担当
	熊本大学教育学部附属小学校	5 年生担当
	和歌山県かつらぎ町立大谷小学校	5 年生担当
	千葉県柏市立旭東小学校	5 年生担当
	大阪教育大学教育学部附属平野小学校	5 年生担当
	石川県野々市町立御園小学校	5 年生担当
	石川県金沢市立南小立野小学校	5 年生担当
		合計 7 名

- (2) 調査期日 2002 年 12 月 1 日～同年 12 月 21 日

(3) 調査項目

○あてはまる番号を「ご回答 []」の中にお書きください。

A、「デジタルワークカード」についてお聞きします。

1) 「デジタルワークカード」は、学習指導に役立ちましたか？

ご回答 []

- 1、とてもやくにたった
- 2、すこしやくにたった
- 3、どちらともいえない
- 4、あまりやくだたなかった
- 5、まったくやくだたなかった
- 6、その他 ()

2) 「デジタルワークカード」は、学習評価に役立ちましたか？

ご回答 []

- 1、とてもやくにたった
- 2、すこしやくにたった
- 3、どちらともいえない
- 4、あまりやくだたなかった
- 5、まったくやくだたなかった
- 6、その他 ()

3) 「デジタルワークカード」は、ご自身の授業を振り返るのに役立ちましたか？

ご回答 []

- 1、とてもやくにたった
- 2、すこしやくにたった
- 3、どちらともいえない
- 4、あまりやくだたなかった
- 5、まったくやくだたなかった
- 6、その他 ()

4) 使用したデジタルワークカードを利用した学習活動についてのご感想をお願いします。

<自由記述>

B、「子どもの部屋の内容」についてお聞きします。

1) 「子どもの部屋の内容」は、学習指導に役立ちましたか？

ご回答 []

- 1、とてもやくにたった
- 2、すこしやくにたった
- 3、どちらともいえない
- 4、あまりやくだたなかった
- 5、まったくやくだたなかった
- 6、その他 ()

2) 「子どもの部屋の内容」は、学習評価に役立ちましたか？

ご回答 []

- 1、とてもやくにたった
- 2、すこしやくにたった
- 3、どちらともいえない
- 4、あまりやくだたなかった
- 5、まったくやくだたなかった
- 6、その他 ()

3) 「子どもの部屋の内容」は、ご自身の授業を振り返るのに役立ちましたか？

ご回答 []

- 1、とてもやくにたった
- 2、すこしやくにたった
- 3、どちらともいえない
- 4、あまりやくだたなかった
- 5、まったくやくだたなかった
- 6、その他 ()

4) 「子どもの部屋の内容」を利用した学習活動についてのご感想をお願いします。

<自由記述>

C、「先生の部屋の内容」についてお聞きします。

1) 「先生の部屋の内容」は、学習指導に役立ちましたか？

ご回答 []

- 1、とてもやくにたった
- 2、すこしやくにたった
- 3、どちらともいえない
- 4、あまりやくだたなかった
- 5、まったくやくだたなかった
- 6、その他 ()

2) 「先生の部屋の内容」は、学習評価に役立ちましたか？

ご回答 []

- 1、とてもやくにたった
- 2、すこしやくにたった
- 3、どちらともいえない
- 4、あまりやくだたなかった
- 5、まったくやくだたなかった
- 6、その他 ()

3) 「先生の部屋の内容」は、ご自身の授業を振り返るのに役立ちましたか？

ご回答 []

- 1、とてもやくにたった

- 2、すこしやくにたった
- 3、どちらともいえない
- 4、あまりやくだたなかった
- 5、まったくやくだたなかった
- 6、その他 ()

4) 「先生の部屋の内容」についてのご感想をお願いします。

<自由記述>

D、保護者の方の反響についてお聞きします。

1) 保護者から反響がありましたか？

ご回答 []

- 1、あった 2、なかった

2) 反響があった方は、どのような反響があったのか、具体的にお書き下さい。

<自由記述>

E、DPP の授業実践全体について、ご意見、ご感想、エピソードや事件などがありましたらお書きください。

<自由記述>

(4) 手続き

質問紙法によるアンケートを電子メールで実施した。

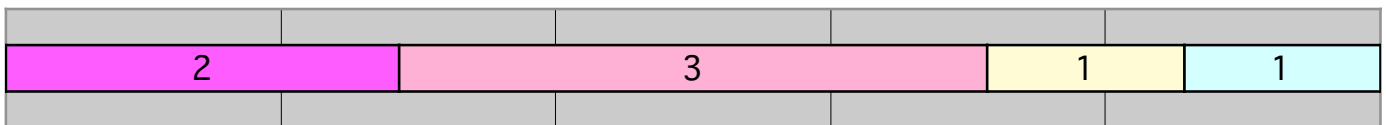
Ⅲ 結果と考察

アンケートの設問順に集計結果とそのグラフを提示し考察を述べる。なお、() 内の数字は度数を示す。

A、「デジタルワークカード」についてお聞きします。

1) 「デジタルワークカード」は、学習指導に役立ちましたか？

- (2) 1、とてもやくにたった
- (3) 2、すこしやくにたった
- (1) 3、どちらともいえない
- (1) 4、あまりやくだたなかった
- (0) 5、まったくやくだたなかった
- (0) 6、その他 ()

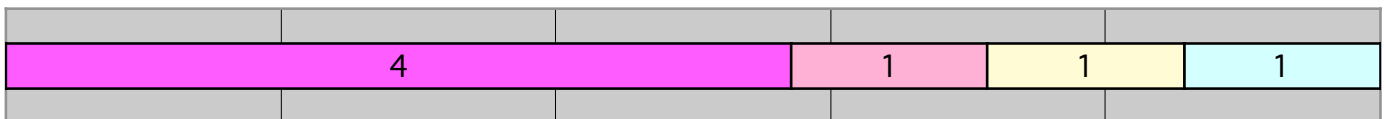


とてもやくにたった すこしやくにたった どちらともいえない あまりやくだたなかった まったくやくだたなかった その他

概ねよい評価を受けているが、評価に開きがある。

2) 「デジタルワークカード」は、学習評価に役立ちましたか？

- (4) 1、とてもやくにたった
- (1) 2、すこしやくにたった
- (1) 3、どちらともいえない
- (1) 4、あまりやくだたなかった
- (0) 5、まったくやくだたなかった
- (0) 6、その他 ()

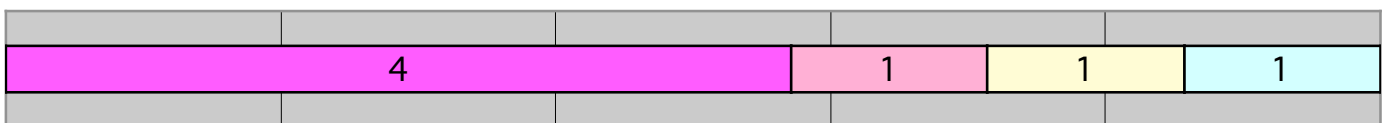


とてもやくにたった すこしやくにたった どちらともいえない あまりやくだたなかった まったくやくだたなかった その他

概ねよい評価を受けているが、評価に開きがある。

3) 「デジタルワークカード」は、ご自身の授業を振り返るのに役立ちましたか？

- (4) 1、とてもやくにたった
- (1) 2、すこしやくにたった
- (1) 3、どちらともいえない
- (1) 4、あまりやくだたなかった
- (0) 5、まったくやくだたなかった
- (0) 6、その他 ()



とてもやくにたった すこしやくにたった どちらともいえない あまりやくだたなかった まったくやくだたなかった その他

概ねよい評価を受けているが、評価に開きがある。

4) 使用したデジタルワークカードを利用した学習活動についてのご感想をお願いします。

<自由記述>

【肯定的意見】

- 意見 A. 今回は新しいデジタルワークカード作りを試みましたが、そのワークカードが思うように動作しなかったために子供たちにも負担をかけてしまいました。もう少し準備を十分におけばよかったと考えています。
- 意見 B. 本学級は37名おり、一人一人の学習の状況や成果などを把握することの難しさを感じていた。デジタルワークカードは、子どもたちの学習に対する意欲や関心、進歩の状況等を知るためのデータとなったので、一人一人のよい点を見つけて対話を深めることができた。また、子どもたちにとっても、自らの学習を振り返り、次の活動のめあてをもって学習を進めていけるような評価活動のために有効に使われた。
- 意見 C. この学習で初めてデジタルワークカードを使ってみました。そのせいもあって初めはワークカードを仕上げることも苦労していましたが、作品の貼り付けや文字入力などにもどんどん慣れていきました。動く作品を見ながらのふりかえりはよかったようです。今回のワークカードは子ども自身のふりかえりと私がそれを見て子どもの様子をつかみ学習の進行に生かしていくことに有効だったように思いました。
- 意見 D. 図画工作でのポートフォリオを使っていく学習は大変役に立つと思っております。単に、作品を作っていくというだけではなく、どのようなめあてをもって、どのようなことを意識しながら学習をしていくのか、ということをお子さんが考えるようになります。そして、図画工作の時間にどのような作品を作成していったのか、ということをお子さんが個々に振り返ることができ、満足感を高めることができますからです。

<考察>

デジタルワークカードについては、振り返りについて有効であるという報告が多くなされている。意見 C の「動く作品を見ながらのふりかえりはよかったようです。」にデジタルワークカードの特性が端的にあらわれている。意見 B より、ひとり一人の児童との対話や次の学習活動に向けての評価活動においてデジタルワークカードが有効であったことがわかる。しかし、デジタル化したメリットを述べた意見が少ない。従来の紙のワークカード（シート）も同様のねらいを持っていることより、デジタル化したメリットを更に収集する必要がある。

【否定的意見】

- 意見 A. 授業の中で書き込ませる時間があまりなかった。実用化するにはそれ相応の機能を備えたマシンが必要であると思う。
- 意見 B. 学習を通してこのカードを上手く使えなかったように思うのは、2人で1台のパソコンの条件の中で作品作りに時間を十分にあてたいと考えて、ワークカードを開いて先生からのコメントも読む時間なども取らずに進めてしまいました。子どものふりかえりの中で「コメントなどを見る時間が欲しかった」と書いている子どももいました。子どもと先生のワークカード上でのキャッチボールは上手くいきませんでした。時間があまりない中でどう生かせばよかったのかが課題です。紙であれば手元ですぐに見ることも可能ですが、デジタルカードはパソコンの中で見にいかななくてはいけ

ないことが少し使いにくかったと思いました。

意見 C. 1クラスのみデジタルワークカードを記入させてみたが、文字入力・写真の貼り付けに精一杯で子ども自身の振り返りになっていたかどうか疑問である。そこまでのスキルが身に付いていない。また、普段の紙に記入されたものでしたら時間の合間にチェックを入れるがパソコンに向かっている時間的余裕が作れなかった。

<考察>

3つの意見より、児童と教師のコンピュータスキルとパソコンのスペックが、低くなればなるほどデジタルワークカードのメリットが減少し、逆にデメリットとなったことが再確認された。

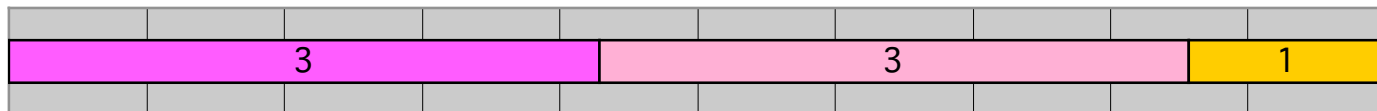
肯定的意見と否定的意見の背景にある現実は、今後、児童と教師のコンピュータスキルとパソコンのスペックが向上した場面において、児童と教師がデジタルワークカードのメリットを享受する可能性を示唆するものである。また、児童と教師の工夫や試行錯誤の中から更に様々なデジタルワークカードのメリットが生まれる可能性をも示唆していると考える。

まずは、各学校の現状に応じてデジタルとアナログのワークカードの使い分けといった工夫をするとともに、コンピュータスキルの習得のためのカリキュラムの中でデジタルワークカードを取り入れることが必要になってくると考える。

B、「子どもの部屋の内容」についてお聞きします。

1) 「子どもの部屋の内容」は、学習指導に役立ちましたか？

- (3) 1、とてもやくにたった
- (3) 2、すこしやくにたった
- (0) 3、どちらともいえない
- (0) 4、あまりやくだたなかった
- (0) 5、まったくやくだたなかった
- (1) 6、その他（授業では見せることができなかった）

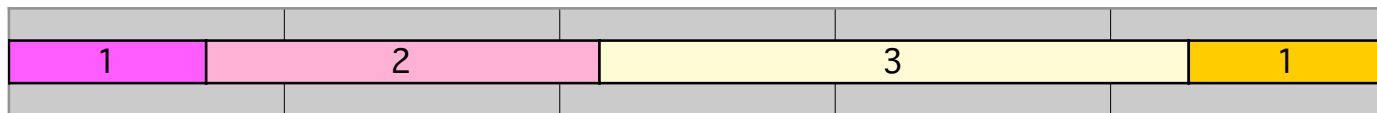


とてもやくにたった すこしやくにたった どちらともいえない あまりやくだたなかった まったくやくだたなかった その他

よい評価を受けている。

2) 「子どもの部屋の内容」は、学習評価に役立ちましたか？

- (1) 1、とてもやくにたった
- (2) 2、すこしやくにたった
- (3) 3、どちらともいえない
- (0) 4、あまりやくだたなかった
- (0) 5、まったくやくだたなかった
- (1) 6、その他（授業では見せることができなかった）

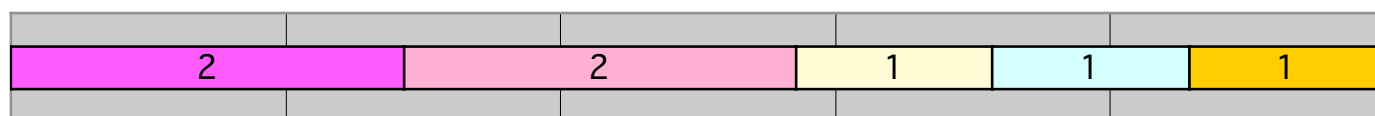


とてもやくにたった すこしやくにたった どちらともいえない あまりやくだたなかった まったくやくだたなかった その他

「やくだたなかった」という回答はないが、この項目がアンケート全体を通して一番評価が低い。また、評価に開きがある。「先生から今日のメッセージ」「学習のめあて」「〇〇の気持ち」みんなの作品発表会」が学習評価に関連するコンテンツであった。なお、アンケート調査の時点において、「〇〇の気持ち」みんなの作品発表会は未公開であった。

3) 「子どもの部屋の内容」は、ご自身の授業を振り返るのに役立ちましたか？

- (2) 1、とてもやくにたった
- (2) 2、すこしやくにたった
- (1) 3、どちらともいえない
- (1) 4、あまりやくだたなかった
- (0) 5、まったくやくだたなかった
- (1) 6、その他（授業では見せることができなかった）



■とてもやくにたった □すこしやくにたった □どちらともいえない □あまりやくだたなかった ■まったくやくだたなかった ■その他

概ねよい評価といえる。授業の振り返りについてはワークカードとともによい評価である。評価に開きがある。アンケート調査の時点において、「〇〇の気持ち」みんなの作品発表会は未公開である。授業の振り返りに役立ったコンテンツとして、「先生からの今日のメッセージ」が該当すると考える。

4) 「子どもの部屋の内容」を利用した学習活動についてのご感想をお願いします。

<自由記述>

[肯定的意見]

- 意見 A. 先生からのアドバイスは子どもたちに毎時間のめあてを知らせることができよかった。
- 意見 B. まず、自分の書き込んだ「今日のメッセージ」を見せることができたことが良かったと思います。
- 意見 C. 前田先生のマニュアルは非常に役に立ちました。
- 意見 D. Photoshop Elements の使い方は大変役立った。毎時間メッセージを書き込むことで期待する子どもの姿を明らかにすることができた。
- 意見 E. 学習の導入時に子どもからこれから作る作品のイメージがわからないという声があがったときに、『参考作品とアドバイス』を見てイメージを持ち、活動に意欲的に入っていくことができ大変助かりました。また、フォトショップの使い方に四苦八苦したのですが、自分で課題解決をしていくことも考えると使い方のマニュアルがあることがとても重要でした。『今日の先生からのメッセージ』は私自身の学習の流し方の参考になりました。他の先生がどのように進めているのかを知ることは有意義でしたし、おもしろかったです。子ども達にもこれを使って今日のめあてなどを伝えたこともありました
- 意見 F. 子どもと共に授業中に「今日のめあて」をみることで本時間の確認がとれた。また、パソコン指導員のサポーターの方と共通理解をはかるのに便利でした

<考察>

「子どもの部屋」が先生からのアドバイスを伝える方法として有効であることが報告されている。また意見 E に述べられているように、他の先生の「先生からの今日のメッセージ」を閲覧することが有意義で

あり Web ページのよさが発揮できたと考える。前田先生のマニュアルは、児童用アンケート結果にもあらわれたように実質的に高く評価された。DPP の成果の一つとして注目してさらに深く考察してゆきたい。

【否定的意見】

- 意見 A. 子どものマシンで「子どもの部屋」を自由に見せる時間をとればもっと役に立ったように思う。
- 意見 B. 本校は未だ INS でつないでいて回線速度が非常に遅いため、各自が自分で確認するという形態を撮ることができなくて残念です。
- 意見 C. 子ども達にもこれを使って今日のめあてなどを伝えたこともありましたが、そのうち、黒板に大きく書くことを選んでいきました。『子どもの部屋』自体とても有意義なページであると思いますが、2人で1台というパソコンの条件の中では交代して作品を作る時間に大部分があてられ、子どもの部屋を改めて見に行くことはしていない様子でした。(私からもそのことをあまりアピールしなかったこともあります。)

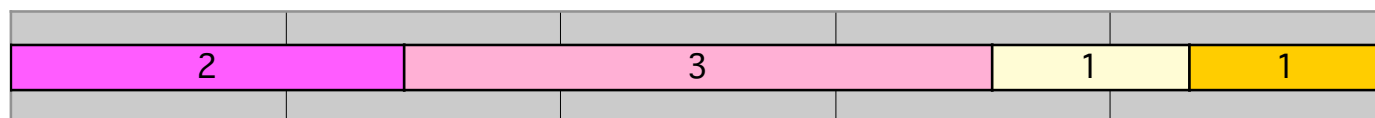
<考察>

否定的意見は、パソコンのスペックと回線速度などのインフラの問題、「子どもの部屋」を見る時間配分の問題に集中している。そのため意見 A、意見 B のように児童が自由に「子どもの部屋」を見ることができなかった学校があった。こうした状況は、児童用アンケートの結果にもなんらかの影響をあたえていると考える。また、めあてを提示するというのを第一にすれば、意見 B のように黒板に板書する従来の方法の方が優れている。「先生からの今日のメッセージ」の改善点を明確にするためにも、黒板への板書や掲示物による提示との違いやメリットを明らかにする必要があると考える。

C、「先生の部屋の内容」についてお聞きします。

1)「先生の部屋の内容」は、学習指導に役立ちましたか？

- (2) 1、とてもやくにたった
- (3) 2、すこしやくにたった
- (1) 3、どちらともいえない
- (0) 4、あまりやくだたなかった
- (0) 5、まったくやくだたなかった
- (1) 6、その他 (授業では見せることができなかった)

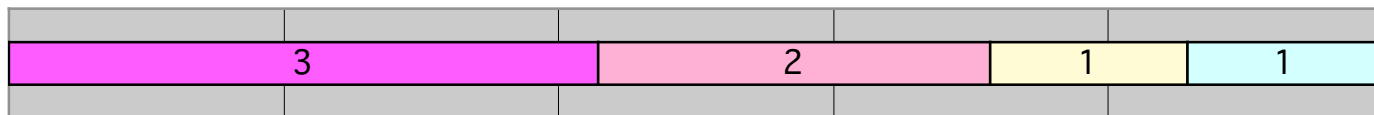


とてもやくにたった すこしやくにたった どちらともいえない あまりやくだたなかった まったくやくだたなかった その他

よい評価とは言えない。また、評価にひらきがある。全てのコンテンツが授業の進行とともにリアルタイムに更新することができなかったことも要因として考えられる。

2) 「先生の部屋の内容」は、学習評価に役立ちましたか？

- (3) 1、とてもやくにたった
- (2) 2、すこしやくにたった
- (1) 3、どちらともいえない
- (1) 4、あまりやくだたなかった
- (0) 5、まったくやくだたなかった
- (0) 6、その他 ()

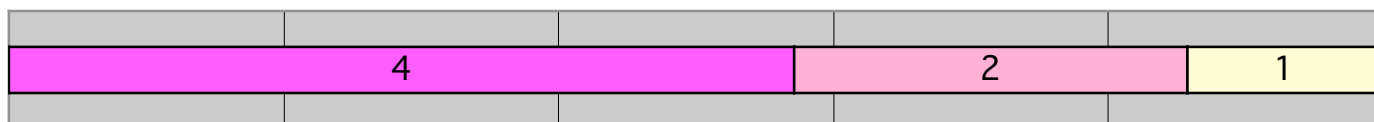


とてもやくにたった すこしやくにたった どちらともいえない あまりやくだたなかった まったくやくだたなかった その他

上記と同じ

3) 「先生の部屋の内容」は、ご自身の授業を振り返るのに役立ちましたか？

- (4) 1、とてもやくにたった
- (2) 2、すこしやくにたった
- (1) 3、どちらともいえない
- (0) 4、あまりやくだたなかった
- (0) 5、まったくやくだたなかった
- (0) 6、その他 ()



とてもやくにたった すこしやくにたった どちらともいえない あまりやくだたなかった まったくやくだたなかった その他

「先生の部屋の内容」は、「子どもの部屋の内容」と同様に評価が高い。DPP の成果として着目したい。アンケート時点では、「授業の様子」（中谷先生のみ）と「私のデジタルワークカードとその使用方法」は公開されていなかった。どのコンテンツが自身のふり返りに役立ったのか明らかにする必要がある。

4) 「先生の部屋の内容」についてのご感想をお願いします。〈自由記述〉

【肯定的意見】

意見 A. 指導案や評価についての説明など、初めてこの部屋に入ってきた方にもわかりやすい内容であると思います。今回、ビデオを撮影し、アップさせるようになりましたが、自分の授業を客観的に見ることができてとても勉強になりました。

意見 B. 学習のねらいや流れなどの学習指導評価案がしっかりとあったことは、実践にあたる上で大きなよりどころとなりました。

意見 C. 他の先生の指導方法や考え方が参考になった。

【否定的意見】

意見 D. 自分以外の先生の授業場面をみられるのはいいが、リアルタイムでアップできればもっとよい。

〈考察〉

ワークカードや子どもの部屋の自由記述に比べて、書き込み量が非常に少ない。しかし、「学習指導評価案」や「保護者の方へのメッセージ」がよりどころや参考になったという意見があった。各コンテンツが充実してきたことより、再度感想を伺う必要がある。(第2回教師用アンケートにて実施)

D、保護者の方の反響についてお聞きします。

1) 保護者から反響がありましたか？

(1) 1、あった (6) 2、なかった

反響があったのは、1名のみであった。みんなの作品発表会が公開されたことより、反響がアンケート後にあった可能性がある。

2) 反響があった方は、どのような反響があったのか、具体的にお書き下さい。〈自由記述〉

意見 A. 作品を見たいという声があったので、保護者参観の発表会を企画したところ、児童数の半数近く
の参加があった。

〈考察〉

作品を見たい！という保護者の思いがあったことがわかる。また、その思いに答えて実施した保護者参観の発表会に、半数近い児童の保護者が参観したことを DPP の大きな成果として捉えたい。DPP ページでも児童作品の公開がはじまり、保護者のコメント登録をおこなった。何人の保護者からコメント登録があったのか調査することを課題としたい。

E、DPP の授業実践全体について、ご意見、ご感想、エピソードや事件などがありましたらお書きください。〈自由記述〉

〔肯定的意見〕

意見 A. 子どもたちは、楽しんで取り組んでくれたのでよかったと思う。作品の交流場面が楽しみである。

意見 B. 子ども達同士の教え合いや、発表しないといけない(場の設定)などを行うことができ、また、相互に評価しあえる活動になったので、とても良かったと思います。

意見 C. 授業の評判は子供の口頭による回答だけだと、良かったという感触です。

意見 D. 自分のデジタルワークカードを友だちや教師に見てもらい、コメントを書き込んでアドバイスしあう活動は子どもたちの意欲を高めた。また、「よりよくしたい」という意欲を持ったときに簡単に再編集できることや、リンク機能を利用すれば成果物を検索したり、評価と成果物を関連づけたることができることなどはデジタルポートフォリオの利点だと思う。子どもたちはネットワーク経由で他校の友だちと見合う活動を楽しみにしている。

意見 E. この実践のなかではこれからの作品交流がなんといっても楽しみです。

意見 F. 面白い取り組みだったと思いますので、今後とも継続されることをおすすめします。Web で指導案、作品、ワンポイントアドバイス等、が手に入れられるのは、とても素晴らしいことだと思います。

意見 G. 題材について「〇〇の気持ち」は内容が明快で理解しやすく評価もしやすい内容であった。パソコン指導員3名を加え全面的なサポート体制の中でこそできた実践となった。普段は簡単に仕上げ

ていく子どもは「パソコンの方が楽」と語っている。

意見 H. 子どもの思いや考えがパソコンという道具を利用することでさらに広がる場面を創り出すことが大切なのだと感じた。

<考察>

子どもの意欲を高め、交流したい！という思いを高めていくという点で有効であったことが報告されている。Web ページを用いるよさが評価されている。

意見 D では、デジタルワークカードを使用し、それをポートフォリオする有効性が評価されている。意見 H にもあるようにコンピュータを利用することでさらに児童の学びが広がる場面を目指して、デジタルワークカードを設計・活用し DPP ページを活用することが、DPP の中心課題であった。肯定的意見からは、この中心課題へ各授業実践者がさまざまな取り組みをおこない成果を得ていることがわかる。

授業実践者の作品交流に対する期待は、コンピュータを活用した作品鑑賞・コメント交換におう部分が大きいと考えられる。作品交流が DPP の実践の大きな魅力になっていると考える。

【否定的意見】

意見 A. マシントラブルが発生しすぎて、その対応におわれ作品の質を上げられなかったのが悔やまれる。

意見 B. デジタルワークカードについては、もう少しつめて、こういうものというガイドラインをしっかりとらせておいた方が取り組みやすかったように思います。

意見 C. デジタルワークカードは実施日ごとのフォルダに整理したが、保存場所を間違えて上書きしてしまう子どもがいた。教師がマメにバックアップをとっておくことが必要だと思った。子どもたちはネットワーク経由で他校の友だちと見合う活動を楽しみにしている。

意見 D. 教師も子どももフォトショップの使い方に慣れるまでに四苦八苦してしまいました。そのところでつまづかないように指導の流れを考える必要がありました。

意見 E. この題材を学ぶことで子どもにどんな力がついたか、何が子どもの心に残ったかを考察するならば、5 学年に適切であったかどうか疑問が残る。モノからの見立て発想ならば中学年的な題材であったような気がする。5 年生の発達段階や学習意識を考慮するのならばもっと、環境的な視点や生活全般を振り返るような発想の広がりをもたせ学びを広げていく必要があったのではないかと感じている。コンピュータ教育と図工科教育について本校は、11月にXPが40台導入されたばかりでスキルが十分でない中の実践で子どもへの負担が多かったようです。ストレスを訴える子どもがいて反省しています。パソコン指導員3名を加え全面的なサポート体制の中でこそできた実践となった。授業のポートフォリオもデジタルワークカードの一環として実施したが普段の授業でも実施しているので「ふりかえりは手書きでじっくりと書きたい」との声が多かった。普段は簡単に仕上げている子どもは「パソコンの方が楽」と語っている。心情的な内容記述は手書きのほうが良いようである。

<考察>

マシンスペック、スキルの問題提起がくり返された。意見 E では、図工教育としてのとらえかたの問題があげられている。図画工作科としての問題点、例えば、50 時間中の 8 時間を用いることや作品の質などを考える契機になった。